

第3回甲状腺結節性疾患有所見率等調査委員会
議事録

1. 日 時：平成25年3月27日（水） 17:00～19:00

2. 場 所：公益財団法人原子力安全研究協会 地下会議室
（東京都港区新橋5-18-7）

3. 出席予定者（敬称略、五十音順）

谷口委員長（自治医大）、赤水委員（和歌山県立医大）、今泉委員（放影研）、
貴田岡委員（公立昭和病院）、志村委員（山梨大）、鈴木委員（福島医大）、山下委員（福島医大）、
出席依頼：小谷氏（自治医大）、二川原氏（弘前大）、林田氏（長崎大）、緑川氏（福島医大）
オブザーバ：大久保（弘前大）、桐生氏、廣瀬氏（環境省）
原安協：今田、竹村、喜古

4. 議 題：(1) 報告書原稿（案）について
(2) 疫学解析最終報告
(3) 疫学解析法の検討
(4) その他

5. 配付資料：

24 甲状腺 3-1 第2回議事録（案）
24 甲状腺 3-2 成果報告書（案）
24 甲状腺 3-3 3地域（長崎・山梨・青森）の甲状腺超音波検査有所見率疫学解析

6. 議 事

(1) 報告書原稿（案）について（配付資料：24 甲状腺 3-2）

谷口委員長より事務局（原安協）に指示があり、配付資料 24 甲状腺 3-2 に基づき、成果報告書（案）の確認を行った後、委員からの修正意見も含めた一部の文言の修正が行われた。また、添付資料は長崎大学で使用されたものを使用しているため、その旨記載することにした。さらに、検査日、メールアドレスなどは、ここでは記載しないことになった。以上の議論の後、報告書が承認され、3月29日に環境省に提出することになった。

(2) 疫学解析最終報告（配付資料：24 甲状腺 3-3）

配付資料 24 甲状腺 3-3 に基づき、今泉委員より、3地域の甲状腺超音波検査有所見率について最終報告がなされた。年齢調整を行っても、3県で結果にばらつきがあることが再確認された。

(3) 疫学解析法の検討

これまでの報告に加え、結節、嚢胞の大きさと年齢との検討が必要との意見があった。それに基づき検討し、年齢とともに頻度が上がること、5.1mm以上ののう胞および結節に地域差がないと報告があった。嚢胞の大きさの分布に関しても言及があり、小さいものほ

ど高頻度であることが報告された。

(4) その他

1) 今回得られた事業の結果の追加解析、経過追跡について意見が出され、次のように行うことになった。各大学の下に追加解析を行うことは任意とすることとした。3大学の結果を合同で検討を行うために、JABTSの下に今回事業を行った代表者等による委員会を組織することを、JABTS理事会に諮ることになった。

2) さらに、今回二次検査となった方、精密検査を希望される方などへの対応、超音波の記録の提供は、JABTSのホームページを通じてJABTS事務局で行うことになった。

以上